

北上市総合計画 2021～2030 令和7年度基本施策事後評価シート（評価対象期間:令和6年度）

基本方針	2.未来を創る人づくり
基本施策	2-2.最適な教育環境の構築
関連するプロジェクト	2.学びの改革プロジェクト

安全で安心な質の高い教育環境を整備するとともに、社会に開かれた学校づくりを進め、地域全体で子どもたちの学びを支える環境を整えていくため、学校と地域の連携・協働体制を構築します。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価
A

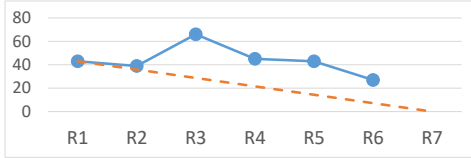
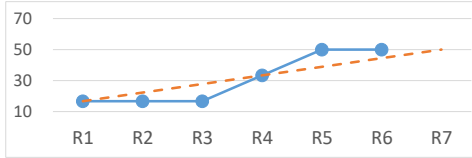
※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

R6事後
4

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針(R6)		成果指標	推進方針に対する達成状況(対象:R6)		達成状況評価	達成状況に至る要因の分析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇:R7/◆:R8以降)
									市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
1	企画部		大学等高等教育機関の設置	市内で生まれ育った子どもたちが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、大学等高等教育機関の設置に向けた研究を進め、市内での進学の実現性を増やすとともに、卒業後は地域産業の担い手として活躍できる環境整備を図る。	①	指標に基づく事実	・R7年3月に北上市立大学(仮称)基本構想を策定した。	A	指標に関する内容	委員10名で構成する北上市立大学(仮称)基本構想策定委員会を設置・開催し、基本構想案をとりまとめた。	指標に関する内容	中央教育審議会での高等教育の在り方に関する議論と同時期であったため、勘案すべき事項や考え方の参考となった。	◇基本構想に掲げる大学を実現するために必要な施設の規模・機能等を検討・整理する。 ◆施設等整備に関する基本計画を作成する。 ◆大学設置認可申請に向けた準備を進める。
					指標以外の事実		(A)		指標以外の内容		指標以外の内容		
2	教育部	●	地域とともにある学校づくり	学校と地域が、連携・協働し一体となって取り組み、持続可能な円滑で効果的な学校運営を推進するため、コミュニティ・スクールの充実を図る。 ※コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは 学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組み(文部科学省)	未設定	指標に基づく事実		A	指標に関する内容		指標に関する内容		◇年2回のコミュニティ・スクール等連絡協議会を開催し、先行事例等を共有することで、更なる推進を図る。
					指標以外の事実	各地区の特徴を生かした体験学習や地域学習など、それぞれの地域学校協働活動を実施し、コミュニティ・スクールの充実を図ることができた。	(A)		指標以外の内容	・地域コーディネーターの役割や地域学校協働活動についての理解が深まっている。 ・コミュニティ・スクール等連絡協議会により、情報共有を行い、地域学校協働活動の実践事例を共有することで、他地域を参考に学校と地域が連携した取り組みが実践されるようになった。	指標以外の内容		
3	教育部		これからの時代に 応じた指導体制や教育環境の構築	さまざまな配慮を必要とする児童生徒に対して、多様な教育を受ける機会を保障しながら適切な指導体制を構築する。また、教職員の業務改善を図るため勤務内容を把握・分析し、教職員の負担軽減と健康確保に取り組む。	②	指標に基づく事実	教職員の在校等時間調査における6月の1か月在校等時間が80時間以上だった職員数について、R5年度は小中合わせて43人だったが、R6年度は27人と減少している。ただ、未だに時間外勤務を行っている教員が多い。	B	指標に関する内容	・業務の軽減を図るため、校務の電子化や部活動指導員の配置などを進めてきたが、教職員の業務はいまだに多い。 ・校長会議などで管理職に業務改善の必要性を周知しているが、その必要性の認識がすべての教職員にまで浸透していない。	指標に関する内容	生徒指導に係る保護者への電話連絡等、個別の対応が求められる場合が多く、在校時間が長くなる要因となっている。	◇勤務時間の実態調査を継続し、各学校、全教職員の教務改善に向けた情報提供や指導を進める。 ◇部活動指導員の任用を進め、中学校の時間外労働の軽減を図る。 ◇学校の運営上の課題を確認しながら、個別指導支援員等の配置を検討していく。 ◇R6に引き続き土日休日の部活動地域移行を試行し、教職員の時間外労働の軽減につながる仕組みを検討していく。 ◇R6に本格運用を開始した校務支援システムを活用し、教職員の業務改善を進める。
					指標以外の事実	各学校の工夫により、配慮を必要とする児童生徒に対する支援体制を構築することができた。また、子どもの学びを保障し、工夫して教育活動を推進することができた。	(B)		指標以外の内容	児童生徒の状況や学校運営上の課題を把握し、教職員や市の個別指導支援員、学習支援員を配置することで、配慮を必要とする児童生徒に対する支援体制を後押しできた。	指標以外の内容	配置予定数に対し、個別指導支援員等の希望者数が満たない。	

No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針(R6)		成果 指標	推進方針に対する達成状況(対象：R6)		達成状況 評 価	達 成 状 況 に 至 る 要 因 の 分 析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇：R7/◆：R8以降)
									市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
4	教育 部	●	教育環境 の整備	ア)市の建築物最適化計画等に基づき、各学校及び学校給食センターの長寿命化や建替え、設備更新を計画的に進める。 将来のより良い教育環境や文部科学省が提唱する新しい時代の学びの実現に向け、これまでの協議経過や、少子化による様々な環境変化を踏まえた小中学校の教育環境の整備を進める。	③	指標に基づく事実 ア)に関して、指標となる6校(R2江釣子中、R3飯豊中、R4二子小、R8黒北小・上野中、R12飯豊小)のうち、二子小と黒北小の計画年度を入替え実施することとし、R5に黒北小の実施設計に着手した。 黒北小の長寿命化改良工事はR6からの実施予定だったが、国の学校施設環境改善交付金の決定が見送られたため、スケジュールを見直し、R7から実施することとした。	A	指標に関する内容 ア)に関して、施設の老朽度合いを考慮し、長寿命化実施年度を入れ替えるなど臨機応変に対応することで、着実な計画実施に努めている。	指標に関する内容 ア)に関して、財源として重要な国交付金のニーズが全国的に高まっており、補助採択のハードルが高くなっている。国交付金の採否状況に応じた柔軟な対応が必要となっている。	◇ア)市の建築物最適化計画に基づく整備を着実に進めるとともに、統合北上中学校の新校舎供用開始に向け、引き続き、統合北上中学校建設推進委員会における意見交換等の内容を踏まえながら、建設工事を進める。二子小の長寿命化については、北上市立学校適正配置基本計画(R8.3月策定予定)を踏まえ、実施方針を検討する。			
				イ)外部の検討委員会より、R6.3に提言された「きたかみの 未来を創る教育のあり方」を踏まえ、学識経験者や学校関係者、地域教育関係者などによる新たな検討の場を設け、北上市立学校適正配置基本計画の策定を進める。 ウ)生徒の多彩な教育機会を確保するため、市内高等学校の学習環境の充実や、市内高等学校等へ進学する生徒等の学習機会の確保に対し支援するとともに、高校や大学等に進学する際の奨学金制度を継続する。		指標以外の事実 イ)に関して、「北上市立学校適正配置の在り方検討委員会」から、R6年3月に、提言「きたかみの未来を創る 教育のあり方」が提出され、R6年度に「北上市立学校適正配置基本計画策定検討委員会」を設置し、基本計画の議論を開始した。 ウ)に関して、高校や大学等の在籍者、合計58人(うち、新規貸与者は23人)に奨学金を貸与した。新規貸与者数は20人程度と低調な状況が続いている。		(A)	指標以外の内容 ウ)に関して、より多くの対象者に奨学金を貸与できるよう、市奨学金貸与の対象となる進学先に、短期大学又は大学に相当する教育機関及び国外の大学を加えるとともに、選考基準のうち家計基準の所得要件を緩和したが、新規貸与者の増加には至っていない。		指標以外の内容 ウ)に関して、市内における少子化等を原因とする進学者数の減少や、日本学生支援機構の奨学金に対する返還支援制度を設ける企業が増えたこと等により、市の奨学金に優位性が感じられないことが考えられる。	◇イ)より良い教育環境の整備のため、北上市立学校適正配置基本計画の策定を進める。 ◇ウ)奨学金制度利用希望者のニーズに応じた一時貸与金の新設や月額貸与金の増額、早期募集開始など、制度を変更し利便性の向上を図る。	

凡例 ●実績値 —期待値

指 標 ①		指標の説明		—						指 標 ②		指標の説明									指 標 ③		指標の説明								
大学等高等教育機関の設置に向けた活動の展開	※R7目標値:基本構想及び施設基本設計等設置に関する総合的な計画の完成(誘致の場合は必要に応じた事業者への支援の実施)		長時間時間外勤務教職員数							・月80時間以上の勤務職員 ・H31.3に策定した北上市教職員働き方改革プランにおいて定めた目標		学校施設の長寿命化実施率		北上市建築物最適化計画に基づく計画期間中の長寿命化実施率(長寿命化実施校の延べ数／実施予定校数)																	
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
企画部		実績値			調査研究の実施	調査研究の実施	基本調査の実施	基本構想の策定		教育部	名	実績値	43	39	66	45	43	27		教育部	%	実績値	16.7	16.7	16.7	33.3	50	50			
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値	43	35.8	28.7	21.5	14.3	7.2	0			期待値 ※R7は目標値	16.7	22.3	27.8	33.4	38.9	44.5	50		
		備 考							※			備 考										備 考									
指 標 ④		指標の説明								指 標 ⑤		指標の説明									指 標 ⑥		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
		実績値										実績値										実績値									
		期待値 ※R7は目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値									
		備 考										備 考										備 考									
指 標 ⑦		指標の説明								指 標 ⑧		指標の説明									指 標 ⑨		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
		実績値																				実績値									
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値									
		備 考										備 考										備 考									
指 標 ⑩		指標の説明								指 標 ⑪		指標の説明									指 標 ⑫		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
		実績値										実績値										実績値									
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値									
		備 考										備 考										備 考									
指 標 ⑬		指標の説明								指 標 ⑭		指標の説明									指 標 ⑮		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
		実績値										実績値										実績値									
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値									
		備 考										備 考										備 考									